

《問題I》
もんだいいち

一 つぎの 五つの ことばのうち、四つは なかまの
ことばです。一つは なかまに ならない ことばです。なかまに
ならない ことばに ○を つけなさい。また、四つの ことばを
まとめる ことばを □に 書きなさい。

- (1) めだか えび ふな こい 金魚
(2) はさみ けしゴム えんぴつ いす じょうぎ

二 つぎの ことばと はんたいの いみの ことばを 書きなさい。

- (1) つめたい ↑
(2) ひくい ↓
(3) くらい ↓

三 —の ことばを せつめいする ことばとして、いちばん
正しい ものを □の中 からも えらんで □に 書きなさい。

- (1) 色
(2) 計算
- くらい・大きい・楽しい
かんたん・しずかな・すてきな

四 —の ことばは □の中 どの ことばを せつめいして
いますか。正しい ものを えらんで □に 書きなさい。

- (1) どんどん
(2) おかしな
- 大きさ・ふえる・かるい
話・読む・おいしい

こべつしきべつコード	かいじょうばんごう	じゆけんばんごう	なまえ	フリガナ	せいねんがっぴ
			なまえにまちがいがあるときは、 □でいせいにマーク(■)し、ただしいなまえをかいてください。	がくねん	くみ
	かいじょうめい		□でいせい	ねん	くみ
せいねんがっぴにまちがいがあるときは、 □でいせいにマーク(■)し、ただしいせいねんがっぴをかいてください。					
□でいせい					
ご記入いただきました個人情報、当財団の検定にかかわる業務のみに使用します。(ただし、検定に関わる業務に際し、業務提携会社に作業を委託する場合があります。)					

五 つぎの 文ぶんの — の ことばは、どんな 気きもちや ようすを あらわして いますか。

つぎの ことばの 中なかから えらんで ○を つけなさい。

(1) 今日きょうは 歌うたの はっぴよう会かいが あるので そわそわして いる。
かなしい つまらない こわい おちつかない

(2) 道みちに 雪ゆきが つもって いるので、そろそろ 歩あるいた。
いそいで ゆっくりと あわてて おどろいて

六 つぎの ことばを ならべかえて、文ぶんを 作つくりなさい。

(1) さいた 花はなが たくさんの きれいに

(2) 大切たいせつな あれは 本ほんだ 父ちちの

七 の 中なかから 正ただしい 文もじ字じを えらんで、 に 書かきなさい。

(1) 青あおい 空そら 白しろい 鳥とりが ゆく。
(2) 新あたらしい ノート 名な前まえを 書かく。

で・を・は
に・が・を

八 に あてはまる ことばを の 中なかから えらんで に 書かきなさい。

(1) すきな ふくを 。
(2) りょう手てで おもい もった。
(3) きょうの ケーキだ。
 すてきだ・うれしい・きる
 にもつを・かばんが・おみやげに
 おやつは・お手てつだいが・お店みせを

《問題Ⅱ》
もんだいに

一 つぎの に入る ことばを 後の の 中から えらんで 書きなさい。

(1) お母さんは チョコレートや ケーキや ようかんを よく 食べて います。 あまい 食べものが すきなのです。

(2) 天気よほうで 今日 は さむくなると 言って いました。 たんすから セーターを 出しました。

たとえば・だから・しかし・つまり・なぜなら

二 つぎの 文しよは 何に ついて 書かれて いますか。 ます目に あてはまるように 文しよから ぬき出して 書きなさい。

夏の 間、元気に とびまわって いた トンボや、大きな 声で 鳴いて いた セミの すがたを、冬には 見る ことが ありません。トンボや セミだけで なく、カブトムシや バッタなどを 見る ことも ありません。虫たちは どこに 行って しまったのでしょうか。

多くの トンボは、ヤゴと いう よう虫の すがたで、冬を こします。ヤゴは 池や 川の そこで じっと して います。セミも よう虫の すがたで、土の 中に います。カブトムシも 同じです。バッタは、冬の 間、たまごの すがたを して います。このように、虫の 冬の こしかたは いろいろですが、冬に なっても、いなく なる わけでは ありません。

について

こべつしきべつコード	かいじょうばんごう	じゆけんばんごう	なまえ	フリガナ	せいねんがっぴ
			なまえにまちがいがあるときは、 <input type="checkbox"/> ていせい(■)し、ただしいなまえをかいてください。	がくねん くみ	せいねんがっぴにまちがいがあるときは、 <input type="checkbox"/> ていせい(■)し、ただしいせいねんがっぴをかいてください。
	かいじょうめい		<input type="checkbox"/> ていせい	ねん くみ	<input type="checkbox"/> ていせい
ご記入いただきました個人情報、当財団の検定にかかわる業務のみに使用します。(ただし、検定に関わる業務に際し、業務提携会社に作業を委託する場合があります。)					

《問題Ⅲ》
もんだいさん

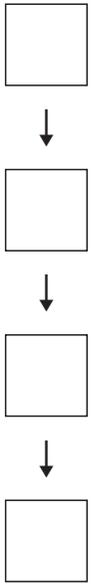
つぎの話を正しいじゅんばんにしなければなりません。にばんごうを書きなさい。

① まず、食べるのこしをしないようにすることです。そのために、食べられる分だけを作ったり、おさらに入れたりしましょう。

② いま、地きゅうのかんきょうをまもることが、とても大切になっていきます。その一つとして、食べものをむだにしないためにわたしたちができることは、なんでしょうか。

③ このようなことに気を付けていくと、食べものをすてずにすみ、地きゅうのかんきょうをまもることにもつながります。

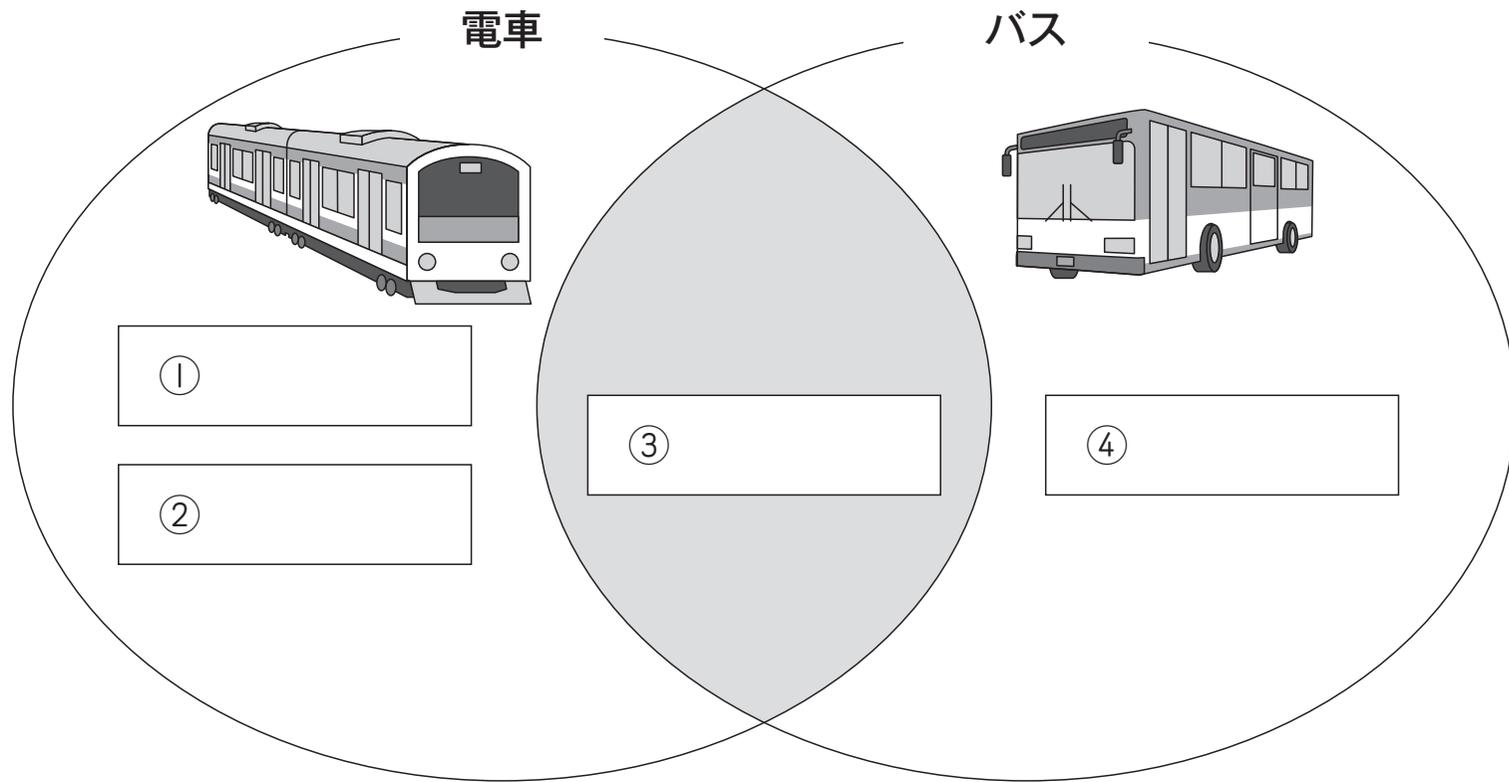
④ つぎにだいじなことは、買いかいものをしすぎないようにすることです。ひつようなものだけをかうと、食べものをむだにすることが少なくなります。



《問題Ⅳ》
もんだいよん

(1) 電車とバスをくらべます。図の□にあてはまる

ことばを□の中なかからえらんで記号きごうを書きなさい。



- ウ えきに とまる
- ア 道どうろを はし 走る
- エ 線せんろを はし 走る
- イ 人ひとを のせて はこぶ

こべつしきべつコード	かいじょうばんごう	じゆけんばんごう	なまえ	フリガナ	せいねんがっぴ
			なまえにまちがひがあるときは、 □でいせいにマーク(■)し、ただしいなまえをかいてください。	がくねん くみ	せいねんがっぴにまちがひがあるときは、 □でいせいにマーク(■)し、ただしいせいねんがっぴをかいてください。
かいじょうめい			□でいせい	ねん くみ	□でいせい
ご記入いただきました個人情報 <small>こじんじょうほう</small> は、当財団 <small>とうざいだん</small> の検定にかかわる業務 <small>ぎょうむ</small> のみに使用します。(ただし、検定に関わる業務に際し、業務提携会社 <small>ていけい</small> に作業を委託する場合があります。)					

(2) □を□にかいてわかったことを、つぎの文ぶんにあらわします。

□にあてはまることばを書きなさい。

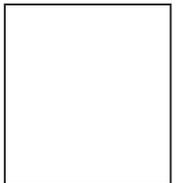
・電車とバスをくらべて、同じなのは

□

ことです。

《問題V》
もんだいご

れいの ように 絵を 見て 二つの 文をつくります。「だれ(何)が」、「何を(に)」、「どづする」の ことばを かならず つかって 書きなさい。



【れい】



②	①	だれ(何)が
おねえさんが	男の人が	
うたを	ピアノを	何を(に)
うたう。	ひく。	どづする

【もんだい】



②	①	だれ(何)が
		何を(に)
		どづする